

# 市民イベント「第2回 集まれ！市民のエコライフ&テクノロジー」

廃棄物マネジメント研究センター 松井 康弘

## 1. 開催概要

2011 8 20 10:00 16:00

ECOLO

150

## 2. 講演会

### (1)

10:00 10:05

10:05 10:10

10:15 11:00

( )

11:00 11:15

11:15 11:30

11:30 11:45

( )

11:45 14:40

14:40 15:00

!!

3 )

15:00 15:30

( )

15:30 16:00

( )

16:00

### (2)





3R



2005

ESD

NPO



3R



!!

ESD



kikito



NPO



つながる暮らし、はぐくむ未来

## 小舟木エコ村の挑戦

NPO法人エコ村ネットワーキング

野田由美

## 第2回 集まれ！市民のエコライフ&テクノロジー



### 講演プログラム



- 10:00~10:05 開会挨拶 阿部宏史氏 (岡山大学副学長)
- 10:05~10:10 挨拶 讀谷山洋司氏 (岡山市副市長)
- 10:15~11:00 特別講演「本当のエコライフとは何かを考える」  
内藤正明氏 (琵琶湖環境科学研究センター所長)
- 11:00~11:15 「東日本大震災後のエコライフ」  
奥山祐矢氏 (環境省大臣官房 循環型社会推進室室長)
- 11:15~11:30 「ESD のこれから」  
内藤元久氏 (岡山市環境局統括審議監)
- 11:30~11:45 「海外に学ぶ学官パートナーシップ」  
藤原健史氏 (岡山大学廃棄物マネジメント研究センター副センター長)
- 11:45~14:40 [ 講演お休み ]
- 14:40~15:00 学生企画 岡山市環境局に直撃取材!!  
佐藤博紀君 (岡山大学3回生)
- 15:00~15:30 「地域資源の活用は最大のエコ！」  
山口美知子氏 (滋賀地方自治研究センター理事)
- 15:30~16:00 「つながる暮らし、はぐくむ未来  
小舟木エコ村の挑戦」  
野田由美氏 (滋賀県NPO法人エコ村ネットワーキング)
- 16:00 閉会



## 交流セッション（展示）の概要

廃棄物マネジメント研究センター 氏原 岳人

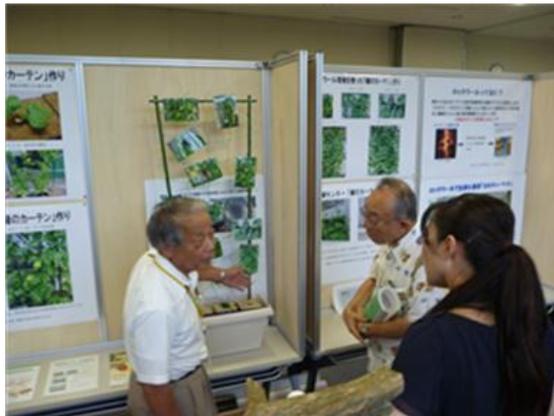
多目的ホール東側 1F、2F 及び屋外にて、関連 7 団体と岡山市環境局、岡山大学廃棄物マネジメント研究センター、岡山大学ユネスコチェア及び、岡山大学学生による活動内容や成果が展示・報告された。各団体の展示概要は以下の通りである。

### (1) 岡山市エコ技術研究会

岡山市エコ技術研究会は、主に廃棄物処理・再資源化に関する調査研究及び技術開発等を目的として活動する団体である。本ブースでは、食品・木質系廃棄物・熔融スラグ等の有効利用に関する活動紹介やエコ普及啓発活動とその成果等を中心に展示された。

例えば、高炉スラグの有効利用の方法の一つとして、ロックウールを活用した水耕栽培や「緑のカーテン」づくりなどの取組みが紹介された。これらブースでは、研究会メンバーと見学者との意見交換などが活発に行われていた。

また、屋外では木ぎれを利用して、踏み台や一輪差しなどを工作する催しが開催されており、小さな子供たちや高校生を中心に人気を集めていた。



### (2) 環境カウンセラー協会

岡山環境カウンセラー協会 (OPECA) は、環境省に登録された岡山県の環境カウンセラーとその支援者によって構成されている団体である。市民や事業者の環境保全に関する相談に応じ、環境パートナーシップを形成しながら環境保全活動を推進している。本ブースでは、OPECA の最近の活動報告が行われており、紙や葦、ヒノキなどを原料にしたペレットが展示されていた。



### (3) 電気&環境安全懇談会

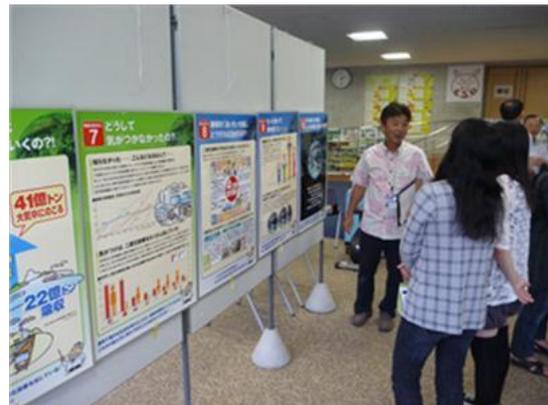
電気&環境安全懇談会は、「仕事や地域活動」で、電気と環境の安全に深く関わっている個人の交流を目的とした団体である。本ブースでは、それら各個人の活動紹介や最新商品に関するパネル展示が行われた。具体的には、AC駆動LEDや省エネ蛍光ランプなどの商品が数多く展示され、興味をもつ見学者に対して、その特長を分かりやすく説明していた。

この他、屋外ではガソリンを利用しない電動スクーターの展示及び試乗も行われており、大学生などを中心にその乗り心地を体験していた。



### (4) 環境学習センター「アスエコ」

環境学習センター「アスエコ」は、環境の大切さを知るために、子どもから大人まで楽しく学べる環境学習施設である。本ブースでは、アスエコ内にて常設展示されている環境学習プログラムを体験できるコーナーが設置されていた。私達が日常的に消費しているエネルギー量を具体的な重さにて体感することができる催しや、自分自身で自転車をこいで発電することで、電気を作ることや安定して維持することの大変さなどを実感できるプログラムが用意されていた。



### (5) 京山地区 ESD 推進協議会

京山 ESD 推進協議会の活動全体を紹介するパネル類と配布用広報冊子、岡山 KEEP（京山地区 ESD 環境プロジェクト）による源流体験エコツアーを紹介するパネル、「よくわかる ESD まんが読本」を紹介するパネルと配布用冊子・チラシ類等が展示されていた。

展示パネルは、大きな写真や図、まんが等を使って見やすくわかりやすいものが展示されていた。



### (6) 岡山県立岡山一宮高校

岡山一宮高校は、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定され、理数教育に重点を置いた教育研究開発を行っている。本ブースでは、SSH などでの取り組み事例がパネルにて紹介されており、新エネルギーから廃棄物問題、都市計画に関する研究等々、高校生による日頃の研究成果が、写真・グラフなどを用いて分かりやすい形で展示されていた。



### (7) 岡山市環境局

岡山市環境局は、バイオディーゼル製造のデモ装置を展示。天ぷら油が、実験装置内でバイオディーゼルに代わってゆく様子がデモされた。岡山市では回収された、天ぷら油は、バイオディーゼルに精製され、ごみ収集車の燃料として利用されている。また、この他にもごみの減量化・資源化の推進、ESD、生物多様性についてのパネル展示や、東日本大震災での、宮城県松島町への家庭ごみ収集・運搬等の環境局職員による復旧支援派遣隊の状況についても紹介された。



## (8) 岡山大学環境部 ECOLO

環境部 ECOLO は、岡山大学校友会公認の環境サークルであり、リサイクル市の開催や学園祭への企画出店などを積極的に行っている団体である。本ブースでは、廃油キャンドルの作成を体験できるコーナーが設置されており、岡大生から実際に廃油キャンドルができるまでの作成過程を習うことができる。興味をもったファミリー層を中心に幅広く人気を集めていた。

また、毎年恒例のリサイクル市に出品される家具も展示された。これら家具は岡山大の卒業生から不要になったものを回収し、新入生に安く提供することを目的としており、売上は、環境保護団体等に寄附している。



## (9) 河津義宏君（岡山大学 3 回生）

岡山大学環境理工学部 3 回生である河津義宏君により、「電力からかわるわたしたちの暮らし」と題したブースが設置された。本ブースでは、節電の必要性や、健康管理との関連性、効果的な節電方法の紹介など、私たちの身近な暮らしの中で、地球環境問題へ取り組むための知恵が分かりやすく紹介されていた。



## (10) Kikito

Kikito とは、森林とともに豊かに暮らしていける未来をめざし、人の営みと森林が結びつくカタチを育てるプロジェクトのことであり、滋賀県湖東地域を中心にびわ湖の森にたずさわる企業や行政などにより構成されている。本ブースでは、「びわこの森を元気にする」プロジェクトや、森林整備と資源の循環利用を目的とした kikito ペーパーの仕組みの紹介などが行われていた。



## (11) 岡山大学ユネスコチェア

岡山大学は、2006 年度に「岡山大学ユネスコチェア『持続可能な開発のための研究と教育』(UNESCO Chair in Research and Education for Sustainable Development at Okayama University)」の名称で国際連合教育科学文化機関(UNESCO)に対してユネスコチェアの設置申請を行い、2007年4月に正式認可を受けた。岡山大学ユネスコチェアが目的とするESDは「持続発展教育」とも訳され、経済発展、社会の公正、環境保全、伝統文化の伝承の観点から社会をより良く変革させ、次世代に受け渡すのに必要な価値観や技能、ライフスタイルを学ぶ実践的な教育活動である。現在、学校教育のみならず、社会教育、高等教育、メディアなどの様々な場でESDが必要とされ、UNESCOが先導して世界中でESD関連事業が実施されている。今回のパネル展示では、ESDの概要を示すとともに、岡山大学ユネスコチェアが国内外の連携機関と取り組んできたESD活動を紹介した。



## (12) 岡山大学廃棄物マネジメント研究センター

岡山大学からは、本プロジェクトの内容について、2F廊下に各研究者の活動内容のポスターを展示した。本プロジェクトは今年度で2年目を迎えており、各パネルでは、昨年度研究内容の紹介や今年度の研究計画・進捗状況などについて、一般の方々にも分かりやすい形で紹介されていた。

